

アオサギ観察会

2006年6月27日

数値で見るアオサギの世界

すくすく育っているかに見えるアオサギのヒナたちですが、実はかなり厳しいサバイバルレースを繰り返しています。今回はその一端を具体的な数値で見ていきましょう。まずは巣立ちまで。

- ・ 孵化まで至らない卵の割合、32%。
- ・ 巣立ちまで至らずに死ぬヒナの割合、47%。
- ・ 1羽のヒナも巣立たせられないつがいの割合、20%。

巣立ったからといって安心はできません。

- ・ コロニーを出てから55日以内に死ぬ幼鳥の割合、40%。
- ・ 翌春までの幼鳥の死亡率、56%。
- ・ 2年後の繁殖齢に達するまでの死亡率、73%。

一方、運良く生き延びることのできたサギたちは、年を重ねるほどさらに生き延びる術を身につけ、4年目以降の死亡率は27%にまで低下します。

アオサギの長寿記録は18.3歳です。



注) ここに示した数値は多くの研究結果の中の一例であって、必ずしも平均的な値ではありません。